

I 事業報告

1 事業概要

定款の定めるところにより、地域の学術及び芸術文化の振興、まちづくり活動の推進に寄与するため、次の事業を実施するとともに、中山道広重美術館の施設の維持管理を行った。

当公益財団法人は、恵那市から中山道広重美術館の指定管理業務を受託して8年目を迎え、新型コロナウイルスの感染予防に引き続き取り組みながら、歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や体験・学習などの仕組みを通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努めた。

館の運営面でまず特筆すべきは、地元の企業に観覧料相当額をご負担をいただき、観覧者の入館料を無料とするスポンサー制度に新たに3社からの応募があり、4月からフリーウェンズデーと称して毎週水曜日も観覧料を無料とすることができたことである。また、毎週金曜日の観覧料を無料とするフリーライダーは、1社の交代を経て、これまで通り3社の応募があり、10月には6年目を迎えることができた。このようにコロナ禍にあって大変厳しい経営状況の中でも6企業様からご支援をいただくことができ、市民や旅行者にも事業の趣旨が浸透し、水曜日と金曜日の観覧入場者は5,204人と総観覧入場者数の約35.8%を占めるに至っている。

次に、財団で積み立てた美術作品取得資金を活用し、必要な浮世絵作品を購入できたことである。今回は、広重最晩年の大作のうち「武陽金沢八勝夜景」や全20図からなる揃物「魚づくし」の残る1点など全8点を購入し、収蔵作品の充実を図ることができた。

続いて展示事業では、春の特別企画展として、「富嶽三十六景」によって錦絵の世界に風景画というジャンルを切り開き、広重にも多大な影響を与えた北斎の魅力を広重作品も交えながら紹介する「北斎百様」を開催した。10月6日からは、秋季特別企画展として、生涯において20種類を超える東海道の揃物を残した歌川広重の保永堂版をはじめとする代表的な揃物を紹介する「東海道をゆく」を開催。東海道を描き続けた広重の眼差しを紹介することができた。

教育普及事業では、「近世絵画の諸様式」と題した連続6講座を開催した。また、2名の学芸員実習生の受け入れを行うとともに、第19回こども版画コンクールを市内各学校の協力を得て開催。版画制作の授業に応援講師を派遣する制度では、要請のあった2カ所のこども園へ延べ6人の版画経験講師を派遣し、こども園、小・中学校、特別支援学校から2,443点の作品応募があった。

収益事業では、好評を博している「広重おじさん」の増補版図録やアクリルキーホルダー、アクリルスタンドなどのオリジナルグッズを新たに製作し、ミュージアムショップやネットショップ等を中心に販売した。

以上、今年度は休館指示もなく通年で開館でき、外出や旅行にかかる制限の緩和も進み、国内外の観光客の増加やバスツアーの復活などにより、年間観覧入場者数は14,154人と、過去2年間を上回った。

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間
1	北斎百様	長い画業の中で、さまざまなジャンルに筆を染め、いずれの分野でも卓越した画力を発揮した北斎。「富嶽三十六景」によって錦絵の世界に風景画というジャンルを切り開いた北斎は、広重にも多大な影響を与えた。本展では広重作品も交えながら世界が絶賛した浮世絵師・北斎の魅力を紹介した。 観覧者数 3,776人	前期 3月31日(木)～5月8日(日) 後期 5月12日(木)～6月19日(日)
2	木曾海道六拾九次之内	当館コレクションの中でも最も美しい揃物「木曾海道六拾九次之内」を全点展示。歌川広重と溪斎英泉が中山道をテーマに描いた世界に誇る優品の年に一度のお披露目を行った。 観覧者数 1,399人	9月1日(木)～10月2日(日)

3	東海道をゆく	<p>広重はその画業において20種類を超える東海道の揃物を残した。本展では、「東海道五拾三次之内」(通称・保永堂版)をはじめとした代表的な揃物を中心に、生涯にわたって東海道を描き続けた広重の眼差しを紹介した。</p> <p>観覧者数 2,970人</p>	<p>前期 10月6日(木)～11月6日(日)</p> <p>後期 11月10日(木)～12月11日(日)</p>
---	--------	---	---

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間
1	浮世絵DESIGN	<p>粋で新しいもの好きで知られた江戸っ子たちを驚かせ、楽しませた、細部にまで創意工夫が凝らされたデザイン性豊かな浮世絵の世界を紹介した。</p> <p>観覧者数 1,058人</p>	6月23日(木)～7月24日(日)
2	人だらけ —街の雑踏を見る—	<p>商人たちがひしめき合いながら取引を行う市場や、参拝客が押し合いへし合いしながら行き交う参道など、生き生きとした街の息遣いを感じさせる活気に満ちた江戸や地方都市の様子を紹介した。</p> <p>観覧者数 1,263人</p>	7月28日(木)～8月28日(日)
3	ウーマンズ ライフスタイル	<p>仕事に従事する女性から街で擦れ違う町娘まで、身分や世代は違えども、浮世絵に生き生きとした姿で描かれた女性達の日常の暮らしを紹介した。</p> <p>観覧者数 886人</p>	12月15日(木)～1月22日(日)
4	花は桜木 —江戸っ子お花見事情—	<p>花といえば桜を指すようになったのは平安時代。中央から地方、貴族から武士へと広がり、江戸時代には庶民階級にまで普及した花見の文化を浮世絵を通じて紹介した。</p> <p>観覧者数 1,111人</p>	1月26日(木)～2月26日(日)
5	江戸粋劇場伊呂波(えどのいきかぶきのいろは)	<p>江戸時代、大変人気があった歌舞伎役者を描いた役者絵。歌舞伎役者と歌舞伎化された「物語」をキーワードに、浮世絵に描かれた歌舞伎の世界を紹介した。</p> <p>観覧者数 1,808人</p>	3月2日(木)～4月2日(日)
6	令和5年度 実施展覧会の企画準備		
7	令和6年度 企画展に関する調査、研究を実施		

2. 教育普及事業

	事業名	内容	時期
1	連続講座(全6回) 「近世絵画の諸様式」	<p>江戸幕府の御用絵師を務めた狩野派、私淑という形で技法や意匠性を受け継いできた琳派、写生画という分野を切り開いた円山派、日本独自の発展を遂げた文人画、そして浮世絵。近世絵画の様々な様式を紹介。</p>	<p>4/9(土) 野田 麻美 氏</p> <p>5/14(土) 桑山 童奈 氏</p> <p>6/11(土) 中谷 伸生 氏</p> <p>10/8(土) 金子 信久 氏</p> <p>11/12(土) 岡田 秀之 氏</p> <p>12/10(土) 宮崎 もも 氏</p>

2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に、学芸員実習の受け入れを行い、地元地域出身の大学生2人が受講。 (皇学館大、京都工芸繊維大)	8月9日(火)～14日(日)
3	中学生の職場体験学習の受け入れ	蛭川中学校1名	8月2日(火)
4	ミュージアムナイト (夜間開館)	中央通り商店街夏まつりに合わせて午後8時まで開館。終日入館無料とし、ラウンジに写真撮影コーナーを設置	8月14日(日)午後8時まで
5	夏休み親子無料イベント	夏休み期間中の企画展に親子で入館された保護者を入館無料とした。	人だらけ - 街の雑踏を見る - 7月28日(木)～8月28日(日)
6	こども版画コンクール応援講師の派遣	こども版画コンクールへの参加作品制作授業へ版画経験講師を希望があったこども園3園に延べ6人応援派遣した。	
7	第19回恵那市こども版画コンクールの開催	自分の住むまちのよさや、ふるさとへの愛着をテーマとして実施。今回はロータリークラブの寄附をいただき、SDGs賞を設置 応募総数2,443点、特別賞19点、奨励賞28点、入選125点	2月25日(土)～3月12日(日) 作品展 観覧者数 566人 3月5日(日)表彰式(広重賞ほか特別賞及び奨励賞)

3. その他の事業

1	6期目を迎えたスポンサー制度は、(株)銀の森コーポレーション、金子建築工業(株)、(株)サラダコスモの3社企業様に観覧料相当の金銭的負担をいただき金曜日に実施。1年間の金曜日の観覧入場者は3,227人であった。また、新たなスポンサーとして(株)三菱UFJ銀行、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社企業様と、4月から毎週水曜日の観覧料を無料とするスポンサー協定を締結。1年間の水曜日の観覧入場者は1,977人で、スポンサー制度による無料観覧者は金曜日と合わせて5,204人となり、総観覧入場者14,154人の約35.8%を占めた。
2	財団の美術作品取得資金による作品購入(武陽金沢八勝夜景など8点、10,925,814円) 財団の美術作品取得資金積立継続(目標額:1,100万円)

4. 収益事業(収益事業等会計)

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) オリジナル商品を企画制作し販売した。
- (4) インターネットによるグッズ・図録のネットショップ販売を行った。

5. 管理事業(法人会計)

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
第1回理事会	令和4年5月20日	第1号議案	令和3年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第2号議案	令和3年度収支決算書の承認について
		第3号議案	事業報告等に係る定期提出書類の承認について
		第4号議案	令和4年度収支予算書(5月補正)の承認について
		第5号議案	定時評議員会の招集について
		報告1	職務執行状況の報告について
		協議・報告	①欠員に伴う評議員の選任について ②異動に伴う監事の選任について ③任期満了に伴う理事の選任について ④理事長、副理事長及び専務理事の選任について
第2回理事会	令和4年10月14日	第1号議案	公益財団法人中山道広重美術館就業規程の変更について
		第2号議案	臨時評議員会の招集について
		協議・報告	①美術作品取得資金の取り崩し及び作品購入について ②令和5年度事業計画(案)について ③中山道広重美術館スポンサー制度の継続について ④役員の職務執行状況及び事業経過諸報告
第3回理事会	令和5年3月8日	第1号議案	財団法人中山道広重美術館職員の給与等に関する規程の変更について
		第2号議案	令和5年度事業計画書の承認について
		第3号議案	令和5年度収支予算書の承認について
		第4号議案	令和5年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②次回の理事会の開催と定時評議員会の招集(案)について ③新スポンサーの申し込みについて ④臨時職員の採用について
第4回理事会 (書面決議)	令和5年3月28日	第1号議案	令和5年度収支予算書の変更について

3 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
定時評議員会	令和4年6月10日	報告1	令和3年度事業報告について
		第1号議案	令和3年度収支決算書の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	監事の選任に関する承認について
		第4号議案	理事の選任に関する承認について
		報告	①理事長、副理事長、専務理事の選任について ②令和4年度事業計画及び収支予算について ③令和4年度収支予算(5月補正)について
臨時評議員会 (書面決議)	令和4年11月23日	第1号議案	公益財団法人中山道広重美術館定款の一部変更について

4 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和4年6月10日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員・監事の氏名の変更	令和4年7月6日

5 役員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
理事長	1	長谷川 佳子	平成24年 4月 1日就任
副理事長	1	小嶋 初夫	令和 2年 6月 9日就任
専務理事	1	伊藤 英晃	令和 4年 6月10日就任
理事	11	市川 彰	令和 2年 6月 9日就任
		大塚 康芳	平成24年 4月 1日就任
		小川 智明	令和 2年 6月 9日就任
		柄澤 史枝	令和 4年 6月10日就任
		纈 纈 満	平成27年 6月19日就任
		河野 ほのみ	令和 4年 6月10日就任
		永谷 茂美	平成24年 4月 1日就任
		西部 良治	令和 2年 6月 9日就任
		長谷川 英司	平成30年 6月 7日就任
		原 淑子	平成28年 6月 2日就任
監事	2	堀 誠	令和 4年 6月10日就任
		柘植 麻美	平成24年 4月 1日就任
		村松 光則	令和 4年 6月10日就任

6 評議員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
評議員	13	阿部 伸一郎	平成28年 6月 2日就任
		安藤 俊幸	平成30年 6月 7日就任
		井口 英一	平成24年 4月 1日就任
		市川 祥子	平成28年 6月 2日就任
		大塩 康彦	平成25年 5月29日就任
		各務 一彦	令和 2年 6月 9日就任
		小坂 幸光	平成28年 6月 2日就任
		後藤 光男	令和 4年 6月10日就任
		鈴木 隆一	平成26年 6月 6日就任
		中島 克子	令和 2年 6月 9日就任
		長谷川 幸洋	令和 2年 6月 9日就任
		福井 敏彦	令和 3年 6月 9日就任
		槇島 春枝	平成24年 4月 1日就任

7 職員に関する事項

区分	氏名	担当	就任年月日	備考
美術館長 (嘱託・事務局長)	伊藤 英晃	統括	令和4年4月1日	
嘱託職員	牧野 直美	総務係長	平成24年4月1日	
嘱託職員	中垣 絵理	学芸員	平成24年4月1日	
嘱託職員	中村 香織	学芸員	平成26年1月1日	
嘱託職員	常包 美穂	学芸員	令和4年4月1日	
嘱託職員	窪田 聡美	デザイナー	平成25年4月1日	
嘱託職員	宮下 真子	案内・ショップ	令和2年4月1日	
臨時職員	河西 碧美	案内・ショップ	令和3年4月1日	令和5年3月31日退職
臨時職員	千藤 秀明	統括補佐	令和4年4月1日	令和5年3月31日退職

8 附属明細書

令和4年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。